名古屋ＪＣがつくる広報誌 マズモッテ

# Maz-motte

Vol.1

2025.2.28

## 共に描こう夢織りなす名古屋の光

公益社団法人名古屋青年会議所2025年度（第75年度）スローガン

公益社団法人名古屋青年会議所

第75代 理事長 平岩　敏明

Maz-motte Vol.1 2025.2.28 名古屋ＪＣがつくる広報誌

発行者／公益社団法人名古屋青年会議所
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号 名古屋JC会館 TEL 052-221-8590

# Junior Chamber International NAGOYA 2025

## 賛助・協賛企業の募集について

### ■賛助・協賛について

名古屋青年会議所は、名古屋のまちを想い、活動を続けて、今年で75年目を迎えました。今後、より一層まちや市民の皆様から求められる運動を展開していくためには、単独の活動ではなく、多くの方々から共感を得て、共に活動していくことが大切であると考えています。

そこで、当青年会議所では社会課題の解決に向けて、あらゆるパートナーと連携し、新たな価値、すなわち持続可能なブランドや事業を創造していく取り組みを行っています。当青年会議所の運動にご賛同いただける企業・団体・個人の方には賛助として、それぞれの事業・例会にご賛同いただける方には協賛としてご支援いただき、協働して運動を展開しています。

賛助いただける利点として、当青年会議所は、期首547名の青年経済人である会員から形成されており、経営者層の人間も多く在籍しておりますが、その会員に対して、貴社・貴団体の活動内容や特色をアピールする機会を設けさせていただきます。

また、我々は、地域との協働により、明るい豊かな社会を実現するため活動しております。広報誌やWEBの活用により、貴社・貴団体を賛助企業としてPRすることで、より一層のイメージアップを図ることができます。

### ■協賛によってなされた事業

昨年度、当青年会議所は、複数の事業・例会を、外部企業・団体等の協賛金に支えられて実施しました。

例えば、モビリティ社会を探求する例会～安心安全で快適な移動を手に入れよう～では、外部の協賛を多数いただいたお陰をもって、レゴランド・ジャパン・リゾートを貸切りにして、電動キックボートの試乗体験やモビリティパレード等を開催し、半日で1700名近い参加者の動員を達成しました。

また、日本初のJR駅敷地内を舞台にしたスポーツフェス、アーバンスポーツフェスを普及する例会～J-Burning NAGOYA × NINJAGAMES～では、1日で約5000名の参加者の動員を達成し、名古屋独自のスポーツイベントを新たにつくり出しました。

### ■賛助・協賛の方法

2025年度（第75年度）では、当青年会議所の目的・理念に賛同し、その活動を援助することによって当青年会議所の発展を助成しようとする企業・団体・個人の方に対し、ご要望に応じた賛助プランをご用意しています。また、各事業・例会に対してご協賛いただく場合には、担当委員会と共にその内容を定めていただくことになります。詳細につきましては、名古屋青年会議所事務局を通して、広報・ブランディング委員会までお問い合わせください。

**お問い合わせ先**

**公益社団法人名古屋青年会議所**
**2025年度（第75年度）広報・ブランディング委員会**
**メールアドレス：75kouhou.branding@gmail.com**

**賛助企業**

株式会社八勝館

## マズモッテ定期送付ご希望の方へ

携帯・スマートフォン・パソコンからお申し込み

❶QR コードを読み取ってください。→

❷「マズモッテ定期送付依頼フォーム」から必要事項をご入力ください。

※QRコードでなく、直接ご入力の際は下記アドレスをご入力ください。
https://nagoyajc.or.jp/about/mazmotte/
※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に従い取り扱います。
※公益社団法人名古屋青年会議所に関する情報提供以外の目的では利用いたしません。
※アクセスにはご契約の通信料がかかります。

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

## 名古屋の魅力を発信する情報をゲット！

名古屋青年会議所のホームページやSNSでも情報を発信中！

公式YouTube チャンネル　公式Facebook　公式Instagram　公式X（旧Twitter）　公式LINE

JCI Nagoya
公益社団法人名古屋青年会議所
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目15番24号
TEL 052-221-8590 FAX 052-202-0464

ホームページもご覧ください。
http://www.nagoyajc.or.jp
名古屋青年会議所　検索

携帯からはこちら！

# Junior Chamber International NAGOYA 2025

## 共に描こう夢織りなす名古屋の光

公益社団法人名古屋青年会議所
第75代 理事長 平岩　敏明

平素は、公益社団法人名古屋青年会議所の活動に多大なるご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨今、円安やインフレの進行などにより、私たちを取り巻く社会は閉塞感に見舞われています。このような時代だからこそ、若きリーダーの集団である名古屋青年会議所が率先して、夢に向かい前に進めるまち、名古屋を創造していかなければなりません。

私たち名古屋青年会議所は、「共に描こう夢織りなす名古屋の光」というスローガンを掲げ、誰もが夢を描けるまちをつくるために様々な運動を展開してまいります。

夢は、誰しもがもち、その人の拠り所となりうるものです。どのような厳しい状況でも、自分自身の夢を追うことができれば幸せなはずです。一人ひとりがもつ夢は多様ですが、多様な夢があるからこそ、私たちは希望をもって前向きに歩め、発展できます。そのような多様な価値観を互いに認め合い、互いに尊重することで、生きやすい世界となり、すべての人の幸せにつながるはずです。私たち名古屋青年会議所は、市民が夢を描ける社会を創造していかなければなりません。

### ●まずは、「国際」です。

JCIは世界組織であり、名古屋青年会議所も姉妹LOMを中心に民間外交を行っております。この輪を広め、名古屋青年会議所に、そして名古屋のまちに国際の機会を提供します。2027年にJCI世界会議を名古屋の地に誘致することで、国際交流都市としての名古屋を全世界にアピールし、名古屋のまちを変え、名古屋から世界を変えていきます。縮小する国内マーケットだけにこだわるのではなく、JCIのネットワークを用い、ビジネスマッチングの仕組みを構築することで、名古屋のまちに国際ビジネスの機会を提供します。世界の少年少女たちにスポーツを通じた国際交流の機会を与えることで、国を越えた友情と世界平和を促進します。名古屋青年会議所の国際ネットワークを通じ、未来を担う若者たちに世界の社会課題に触れることで、広い視点をもった未来のグローバルリーダーを育成します。国際グループは、このようにJCIのネットワークをいかした運動を展開してまいります。

### ●次に、「都市創造」です。

外国人であっても、地域コミュニティの一員として参加できるよう、皆と暮らせるまちを構築し、多文化共生社会を形成します。ワーキッシュアクトを推進することで、働き手不足という社会課題の解決へつなげ、さらに、まちの新しいコミュニティづくりにも寄与します。名古屋の周囲には豊かな自然や、四季があり、まだまだ発信しきれていない魅力的なコンテンツがたくさんあることから、これらを直接海外にPRすることで、インバウンド需要喚起を目指します。名古屋にはドラゴンズやグランパスといったメジャースポーツのプロチームがありますが、それ以外にも様々なプロスポーツチームが存在することから、新たなスポーツコンテンツを市民との接着点とすることで、まちを活性化します。近年、名古屋は若者の転出増加により人口が減少傾向にあることから、市内外の人々にまちの魅力を発信することで、若者の転入と定着を狙います。都市創造グループは、このように、名古屋のまちのポテンシャルを発揮するための運動を展開してまいります。

### ●次に、「ひとづくり」です。

誰もが夢を描けるまちとするため、女性も男性と等しく活躍のチャンスがなければなりません。女性が自ら働きたくなる、そして活躍できるまち、名古屋を目指します。変化の激しい時代を変えるのは、いつの時代も挑戦者たちです。名古屋青年会議所は社会を変えるべく偉大な一歩を踏み出した人々を、「人間力大賞」を通じて発掘し、支援してきました。名古屋青年会議所がまちのアントレプレナーたちにスポットライトを当てていきます。ひとづくりグループは、このように若き人材が生き生きと輝いて新たな挑戦をするために運動を展開してまいります。

### ●次に、「渉外・ブランディング」です。

名古屋青年会議所は、75週年の節目を迎えました。100年続く組織となるために、過去を知り、未来へのビジョンを掲げ、会員との理念共感をしていき、会員一丸となって行動できる組織をつくっていく必要があります。また、地域の皆様に対しても、名古屋青年会議所の活動を認知してもらい、その運動に共感してもらうことで、運動の輪をますます広げていきます。渉外・ブランディンググループは、名古屋青年会議所のブランディングを確立するために運動を展開してまいります。

結びに、市民の皆様、関係諸団体の皆様、会員の皆様におかれましては、本年度も、公益社団法人名古屋青年会議所の運動への深いご理解と、多大なるご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。





## 新春を迎えて

愛知県知事　大村　秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、「ジブリの大倉庫」「青春の丘」「どんどこ森」「もののけの里」に続き、「魔女の谷」が誕生し、「ジブリパーク」がフルオープンしました。

そして、10月には、2019年の構想発表から5年をかけて整備してきた、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」がグランドオープンを迎えました。

世界中から注目を集める2つの施設の完成により、新たなステージへ、また一歩、大きく歩みを進めることができました。

今後も、これらの施設を起点に、世界中から、たくさんの人、最先端の技術・サービスを呼び込み、愛知をさらに元気にしてまいります。

さて、今年7月、いよいよ、アジア最大級・世界最先端のスマートアリーナ「IGアリーナ」がオープンします。スポーツやエンターテインメントの新たな拠点として、「ジブリパーク」や「STATION Ai」との相乗効果を生み出しながら、世界と大交流する愛知を創り上げてまいります。

また、愛知万博20周年となる今年は、3月25日に「愛・地球博20祭」が開幕します。「ジブリパーク」ともコラボレーションしながら大いに盛り上げてまいりますので、ぜひ、楽しみにしていただきたいと思います。

2026年の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするプロジェクトが続きます。

グローバル化の進展やAI等のデジタル技術の急速な発展など、世界が大きく変化する中、今後も、これらのビッグプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会インフラ整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2025年元旦

## 新年を迎えて

名古屋市長　広沢　一郎

明けましておめでとうございます。市民の皆様には健やかに新春をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年11月24日の名古屋市長選挙におきまして、市民の皆様から多くのご支援を賜り、新たに市政を担わせていただくことになりました。私はこれからの4年間で様々な施策に取り組み、名古屋を豊かで楽しい街にしていきたいと考えておりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、今年は愛知・名古屋で開催されるアジア・アジアパラ競技大会を翌年に控えた重要な1年でございます。愛知県や大会組織委員会と力を合わせて、開催に向けた準備を着実に進めるとともに、機運醸成にも全力で取り組んでまいります。この大会を一過性のスポーツイベントに終わらせるのではなく、大会の開催効果をスポーツの振興や交流人口の拡大といった様々な分野に活かし、市民の豊かな生活の実現につなげてまいります。

昨年は、わが国において自然災害が相次ぎ、大きな被害に見舞われました。本市としましては、引き続きハード・ソフト両面の対策を進めるとともに、本市職員の災害対応力の強化はもとより、市民の皆様に対して、災害を「自分ごと」として捉えていただくための取組みを行ってまいります。

最後に、本市は、大規模災害への備えや急速に進む少子高齢化への対応など、取り組むべき課題や施策が多くございますが、私はそれらを一つひとつ丁寧に解決し、名古屋を、住む人にとって「あたたかく」、訪れる人にとって「きて楽しい」「いて楽しい」と感じられる街へと育てていけるよう邁進してまいります。

2025年元旦

2025年　年頭所感

# 地域と連携し、新たな時代を拓く

名古屋商工会議所
会頭 嶋尾　正

明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和7年の新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、我が国や米国をはじめ主要国の大統領などが交代し、国内外の政治体制に大きな変動が見られた1年でございました。

また経済においては、日経平均株価が4万円の大台を突破し、史上最高値を更新するとともに、春闘の平均賃上げ率が5％を超えるなど、デフレからの完全脱却に向けて着実き出しております。一方で国内外の政治動や世界情勢、物価やエネルギー価格の動向など、今後の先行きには不透明感が残っております。

## 物価高や人手不足への対応

こうした中、目下、多くの企業で深刻な課題となっているのは、円安などによる原材料やエネルギー価格の高騰、そして慢性的な人手不足への対応です。

昨年来、賃上げの動きが広がっていますが、中小企業の約6割が業績の改善を伴わない防衛的な賃上げを強いられており、労務費の上昇分を含めた取引価格の適正化を進めることが、成長型の日本経済を実現するためにも必要不可欠です。

官民一体となってパートナーシップ構築宣言の実行性を高め、価格転嫁を商習慣として定着させるとともに、省力化やデジタル化などを推し進めることで生産性を高め、捻出したリソースを新たな付加価値の創出や新分野への進出などにつなげていくことが求められています。

経済・社会構造が目まぐるしく変化する時代にあって、企業が持続的な発展を続けるためには、常に環境に適応し、自らを変える「挑戦」や「変革」を続けていく必要があります。

例えば、高い伝統技術を有する企業が、その高い技術を全く異なる商品に活かし海外市場に進出した事例や、BtoBのものづくり企業が、消費者向けの商品を開発し販売に挑戦している事例もございます。

このように、私ども商工会議所といたしましては、前向きに新たなことに取り組む企業をしっかりとサポートしてまいりたいと考えております。

## 中小企業の支援や次世代産業の育成

会議所活動の根幹は「中小企業の支援」です。経営指導員による巡回・窓口相談を軸にしながら、中小企業に寄り添った「伴走型支援」を行なうとともに、「メッセナゴヤ」や「アライアンス・パートナー発掘市」などの新たな商品の開発や販路開拓につながる事業を積極的に展開してまいります。

中小企業のデジタル化については、「Pit-Nagoya」や「NAGOYA DX・生産性向上ワールド」などを通じて、IT利活用や生産性向上の取り組み事例の紹介から実際の導入まで、企業の取り組み状況に応じたサポートを行なうことで企業の後押しをしてまいります。

また、当地はものづくり産業の集積地でございますが、自動車産業が歴史的な転換期を迎える中、既存産業の維持・強化に加えて次世代の成長産業を育成していくことが重要です。

昨年10月に日本最大のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」が名古屋市内に開設されましたが、名商が運営協力するインキュベーション施設「なごのキャンバス」とも有機的な連携を図りながら、企業とスタートアップの協業により生まれる新たなイノベーションにも期待しているところです。この他にも、ものづくりの高い技術力を活かした航空・宇宙・医療分野などへの参入支援などを行なってまいります。

## 都市の魅力の向上と産業や暮らしを支える交通インフラの整備

都市の魅力を向上するためには、歩いて楽しい街づくりや都市として機能を高めるインフラ整備を地域一丸となって推進していくことが重要です。

アジア・アジアパラ競技大会の開催やリニア中央新幹線の開業を控え、ハード・ソフトの両面において受け入れ環境が着実に進む中、インバウンド需要などを取り込み、交流人口を拡大していくとともに、回遊性を高め、いかにして市内全体の活性化を図っていくかが課題となっております。

こうしたことから、名駅から栄までの東西軸に加え、名古屋城から金山・熱田までの南北軸の活性化を図ることで、より面的な広がりを意識した賑わいづくりや街づくり、商業振興などに取り組んでいきたいと考えております。

また、当地の産業や暮らしを支えるインフラ整備につきましては、先に申し上げたリニア中央新幹線をはじめとする陸・海・空のインフラ整備や災害に強い都市基盤の整備など、関係機関と連携しながら推進していくことで、都市機能の向上に努めてまいります。

## むすび

「巳年」の「巳」という漢字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「新しく産まれてくる」、「将来・未来がある」などの意味があるそうです。

皆さまにおかれましては、変化の激しい時代においても、次のステージに駆け上がり「新しい時代を切り拓く」一年にしていただきたいと思います。

本年も会議所活動に対する一層のご理解とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





日本青年会議所　基本理念

# 「希望あふれる理想を描き変えたのだと誇れる未来へ」

公益社団法人日本青年会議所
第73代会頭 外口真大

公益社団法人名古屋青年会議所の皆様、新年おめでとうございます。謹んでご挨拶を申し上げます。また日頃より公益社団法人日本青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年度は、副会頭 安井琢磨君、リーダー育成委員会　委員長　柳澤幸佑君、対内ブランドマネジメント委員会　委員長　播磨一夫君をはじめとする素晴らしい人財を数多くご輩出いただいておりますこと、重ねて御礼申し上げます。

貴青年会議所が、本年度、平岩敏明理事長のもと、スローガンに「誰もが夢を描けるまちをつくろう　若者が夢と希望をもち皆で幸せになる社会を目指して」掲げ、明るい豊かな社会の実現を目指し、邁進されることと存じます。社会の価値観が多様化していく中で、新たな挑戦を掲げられている貴青年会議所に、心から敬意を表するとともに万全の態勢で連携ならびに様々なサポートをさせていただければ幸いです。

本年度、日本青年会議所といたしましては、「希望あふれる理想を描き変えたのだと誇れる未来へ」を基本理念に掲げさせていただきました。社会課題解決運動から社会開発運動へと転換する事によって、魅力ある運動を通じて家族・会社・地域のために誇れる組織の実現を目指し、各地の皆様と手を携え、日本や地域がより良くなるための運動を展開してまいります。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、日本青年会議所を大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、皆様にとって本年が素晴らしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

RaiseYourFlag
理想への挑戦

JCI Japan

東海地区協議会　基本方針

# 繋がりが実現する 未来に誇れる 強くしなやかな 東海の創造

公益社団法人
日本青年会議所
東海地区協議会

2025年度　会長
戸嶋　一将

謹んで新春をお祝い申し上げます。

平素より東海地区協議会の運動への格別のご理解とご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。また貴青年会議所より多くの出向者を東海地区協議会へご輩出いただき心より感謝申し上げます。

2025年度の東海地区協議会は「繋がりが実現する 未来に誇れる 強くしなやかな東海の創造」を基本方針として掲げ、「防災」「組織連携」の二本を軸に運動を展開してまいります。これから先の未来を守っていくために、縦串であるLOMから本会を繋ぐ組織間の連携と、横串である協議会、そしてLOM同士の連携を機能させることで「やらなければならないが、できていないこと」を実行し、強くしなやかな東海の創造に向けて東海地区出向者を中心に年間を通して多くの挑戦をしてまいりたいと考えております。

ここ東海地区協議会は、長きに亘り活動エリアが広域であるメリットを最大限に活かすことで、経済・防災・国際など多様な運動を展開し、地域で活躍できる人材を多く輩出してきました。その一方で社会情勢は常に変化し、常に喉元に迫っている南海トラフ地震に代表される大災害など、活動エリアが広域であるからこそ解決しなければならない喫緊の課題は山積しています。今こそ、課題解決に適した手法を実施し、社会情勢の流れにいち早く適応していく強い協議会である必要があります。加えて、日本青年会議所の定款に記載がある通り、地区協議会も総合連絡調整機関としての役割を全うする必要があり、ブロック協議会と連携することで皆様が起こす運動の効果を最大化することは地区協議会が果たすべき役割であり目指すべき姿だと考えます。本質的に皆様にとって有益な存在となるべく地区役員一同一年間の運動に尽力してまいります。

末筆ではございますが、平岩理事長が目指される2025年度の事業、運動が素晴らしい成果を残されることを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

愛知ブロック協議会
２０２５年度スローガン

# BIG CHALLENGE

公益社団法人
日本青年会議所
東海地区
愛知ブロック協議会

2025年度　会長
平野　伸弥

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より公益社団法人日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会に対し、格別のご理解とご協力を賜っていることに厚く御礼を申し上げます。また、監査担当役員として吉川徹君、LOM支援委員会委員長として馬場慶輔君をはじめ多くの出向者をご輩出いただいていることにも重ねて御礼申し上げます。

本年度、愛知ブロック協議会は「BIG CHALLENGE」をスローガンに掲げ、運動を展開してまいります。このスローガンは、組織運営や運動が核心を突いたものでなければ恐れることなく改革をしていく、歴史と伝統ある愛知ブロック協議会が、誰よりも挑戦者であり続けたいというメッセージです。挑戦は必ずしも成功を約束しませんが、挑戦は必ず新たな可能性を生み出します。県内会員会議所の皆様と共に取り組む「BIG CHALLENGE」がより良い愛知の未来へつながると信じて、可能性あふれる愛知を創造してまいります。

公益社団法人名古屋青年会議所におかれましては、平岩敏明理事長の類い稀なリーダーシップと誰もが夢を描けるまちをつくるという強い想いのもと、地域課題解決に向けた力強い運動が展開されることを確信しております。会員の皆様一人ひとりの挑戦が紡ぎ出す運動が、平岩理事長の目指す誰もが夢を描けるまち、皆で幸せになれる社会の実現につながることを心よりご祈念申し上げます。

結びに、愛知ブロック協議会に対しまして2025年度もこれまでと変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。





## JCI

JCI APDC
開発担当役員
坂口　晃逸

## 公益社団法人日本青年会議所

副会頭
安井　琢磨

リーダー育成委員会
委員長
柳澤　幸佑

対内ブランドマネジメント委員会
委員長
播磨　一夫

JCI関係委員会
副委員長
塚本　燎

サマーコンファレンス特別委員会
副委員長
足立　将也

全国大会運営会議
副議長
加藤　将太

スポーツの力委員会
副委員長
平井　幸輝

公正な経済推進委員会
副委員長
前川　将也

運動構築支援委員会
副委員長
梁川　雄太

組織デザイン委員会
副委員長
初田　健斗

渉外委員会
副委員長
中村　太紀

総務委員会
副委員長
太田　和宏

グローバルピース会議
総括幹事
的井　利樹

リーダー育成委員会
総括幹事
中山　裕徳

対内ブランドマネジメント委員会
総括幹事
梅本　隆太

地域共創会議
運営幹事
松井　利安

財務運営会議
運営幹事
嶺田　英智

TOYP委員会
会計幹事
新木　駿

JCプログラム委員会
会計幹事
山中　崇裕

地域ブランド確立委員会
広報幹事
田口　知

レジリエンス強化委員会
広報幹事
所　澄人

## 公益社団法人日本青年会議所　東海地区協議会

顧問
澤田　章弘

## 公益社団法人日本青年会議所　東海地区　愛知ブロック協議会

監査担当役員
吉川　徹

LOM支援委員会
委員長
馬場　慶輔

愛知の平和意識醸成委員会
副委員長
森　貴紀

国際貢献推進委員会
副委員長
西村　高成

ブロックアカデミー委員会
副委員長
桐村　大輔

共感広報ブランディング委員会
副委員長
生田　晃生

ブロック大会運営委員会
副委員長
臼井　貴義

LOM支援委員会
総括幹事
酒井　孝太郎

LOM支援委員会
運営幹事
伊藤　彰洋

LOM支援委員会
会計幹事
安井　裕樹

ブロックアカデミー委員会
塾幹事
岡　生太

敬称略。なお、スペースの都合上、スタッフ出向者のみご紹介させていただきます。

## 総務グループ

適切かつ柔軟な
名古屋青年会議所の
組織運営を目指します。

グループ長　諸角　圭佑

## ひとづくりグループ

若き人材が生き生きと輝いて
新たな挑戦をするための
運動を展開します。

グループ長　栁澤　幸佑

## 都市創造グループ

名古屋のまちのポテンシャルを
発揮するための運動を
展開します。

グループ長　立野　晶弘

## 国際グループ

JCI のネットワークをいかした
運動の展開と世界に通用する
人材の育成を目指します。

グループ長　富永　晃司

## 渉外・ブランディング
## グループ

75 周年の節目にふさわしい、
名古屋青年会議所の
ブランディングを確立します。

グループ長　宮地　宏明

**第75年度は、5グループにて
運動を展開し、挑戦を積み重ね、
希望に満ちた名古屋の実現を目指します。**

## 専務理事

第75年度 専務理事
安藤　恭平

2025 組織図

# 公益社団法人名古屋青年会議所
# 2025年度（第75年度）組織図

JCI Nagoya

## 総　会

### 理　事　会

**監事**
岩下大高
吉川徹
小栗崇嗣
中村正俊

### 常任理事会

理 事 長　平岩敏明

副理事長　宮地宏明
富永晃司
栁澤幸佑
立野晶弘

専務理事　安藤恭平

常務理事　諸角圭佑

直前理事長　安井琢磨

顧　問　澤田章弘

**オリエンテーション実行会議**
議　長：宮地宏明

**わんぱく相撲運営会議**
議　長：立野晶弘

## 渉外・ブランディンググループ
グループ長　宮地宏明

- 渉外・ブランディング室（鵜飼貴司）
  - 渉外委員会　社本崇志　アドバイザー　服部暁彦
  - 広報・ブランディング委員会　小山洋史　アドバイザー　東谷篤憲
- 75周年記念特別委員会　岡山将典　アドバイザー　児玉昇之

## 国際グループ
グループ長　富永晃司

- 国際都市交流推進特別委員会　黒田勇樹　アドバイザー　上岡賢輔
- 国際都市推進室（前畑大輔）
  - 世界会議誘致実行委員会　中野雅仁　アドバイザー　三宅功一
  - 国際ビジネス推進委員会　篠田旭弘
- 国際人材育成室（荒川一喜）
  - 国際スポーツ交流推進委員会　太田和宏　アドバイザー　石原裕也
  - グローバル人材育成委員会　清水悠臣　アドバイザー　男城月菜

## 都市創造グループ
グループ長　立野晶弘

- 新しい都市の形実現室（坪井健一郎）
  - 多様性都市NAGOYA構築委員会　平岡勇治　アドバイザー　松井利安
  - ワーキッシュアクト推進委員会　古川史章　アドバイザー　山田祐士
- 都市の魅力創造室（山口敬）
  - インバウンドシティ確立委員会　青木宏樹　アドバイザー　加藤将太
  - 新たなスポーツ都市確立委員会　吉水峰志　アドバイザー　嶺田英智
- 魅力あふれるNAGOYA創造特別委員会　清水豊大　アドバイザー　石野田洸平

## ひとづくりグループ
グループ長　栁澤幸佑

- 総活躍実現室（瓜生研二）
  - 女性のエンパワーメント推進委員会　山田雄大　アドバイザー　田口知
  - アントレプレナー育成委員会　濵脇亮　アドバイザー　福樂正旭

## 総務グループ
グループ長　諸角圭佑

- 総務室（大野祐揮）
  - 総務委員会　髙取秀光　アドバイザー　都世子翔太
  - 財務委員会　河本和寛　アドバイザー　太田和宏

**出向役員**　坂口晃逸
**出向役員**　播磨一夫
**出向役員**　馬場慶輔